

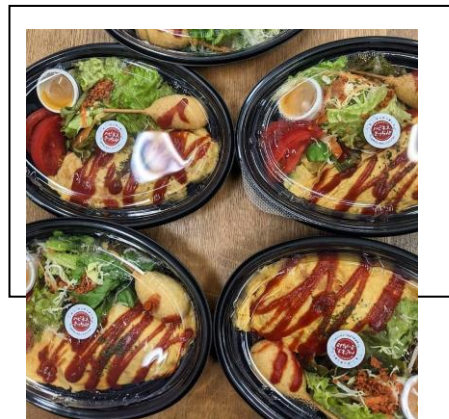
「いばらき子ども食堂応援助成」活動報告書

活動名	おいさとまごころを届ける支援活動
団体名	ami seed
この活動で 取り組んだ 地域の課題 や背景	<p>1. 課題 人口流動化等に伴い生じる個人の課題を地域の課題として共有し、支援活動を軸とした支援する者と支援を受ける者による相互扶助が可能となる地域社会の実現を目指す。</p> <p>2. 背景 コロナ渦は「身近な地域」に見えていなかった課題があり、「身近な地域」で課題を解決せざるをえないことを再認識させる契機となった。</p> <p>阿見町をルーツとしない者(大学生や外国人居住者等)は、一人や一世帯では解決できない課題を「誰か」とつながり、解決することの必要性を感じ、社会とのつながりを求める意識が高まりつつある。</p> <p>子ども食堂やフードパントリーのボランティアに来て下さる方々の居場所として昔ながらのコミュニティに所属する者は、地域社会の健全な維持発展のためにも「誰か」を支援することの重要性、自身が独居になるかもしれない等の将来への不安を解消させることにもつなげることができる。</p>
この活動の 目的	身寄りがなく孤立している方に寄り添うこと。支援する者と支援を受ける者も相互に交流しながら地域の課題を共有し、今まさに求められている持続可能な相互扶助の環(WA)を地域社会の実現を目指す。
活動の対象	茨城県南在住する単身世帯・ひとり親世帯及びその家族。
実施内容	<p>毎月第二日曜日のお弁当支援を中心に活動。子どもたちの栄養面を考慮して、管理栄養士のメンバーが献立を考え、5分つきのお米を使用したお弁当を提供してきた。調理師免許を持つメンバーを中心に調理。普段、仕事で忙しいひとり親さんとお子さんが日曜日の夜、一緒に晩御飯を食べられるようにしてきた。また、第四土曜日の無料塾とあわせて85歳のお姉さま方が作るおにぎり食堂を開始。</p> <div data-bbox="352 1299 836 1601">  </div> <div data-bbox="904 1335 1386 1576" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>調理を担当するメンバーも、高校生～高齢者（独居の高齢者）が参加している。</p> <p>親子での参加や、多様な世代の活動場所にもつながる。</p> </div> <div data-bbox="352 1688 836 1984">  </div> <div data-bbox="904 1693 1386 1935" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ご飯からも栄養を高く取るため、精米方法を5分つきでおこなう。そのため、茶色のご飯にはなるが、子どもたちの栄養摂取や、彩り、手間をかけ真心が伝わるお弁当を提供。</p> </div>

「いばらき子ども食堂応援成」活動報告書

飲食店のお弁当を購入して、必要な家庭など、子ども食堂の調理場所が公共施設のためコロナの蔓延防止などが入ると公共施設の利用が中止される。そのため、子ども食堂の代わりに飲食店のお弁当を提供しました。

町内の区長・民生委員から行政に連絡、電気・ガス等が停止した家庭など継続なお弁当、食糧支援も行ってきました。



飲食店さんの方々も趣旨を組んで下さり金額より、ボリュームや彩りなどを考えて下さる飲食店さんが多く、私たちの負担を減らすため宅配して下さる配慮をして下さった。

活動実施後の成果

スタート時40食からスタートし、SNSの拡散やフードパントリーの効果もあり、120食にまで増える。お弁当の引き渡しや宅配から、些細な変化やひとり親さんたちのコミュニティーの場になりつつある。また、支援されるだけではなく、何か自分にも出来ることがあるでは？と協力してくれるひとり親さんも増えてきている。

今後の展望や新たに 見えてきた 地域課題

コロナ禍の状況を見て、子どもたちを招いてのこども食堂のスタートを展開予定。ひとり親さんの孤立、子どもたちの社会との関わる機会が減ってきていることが懸念される。

寄付者への一言

ご寄付をくださる方と支援を受け取る方をつなげることができれば一番のやりがいと考え、事業を進めさせて参りました。ありがとうございました。

自己評価

- A. 目標を超える成果を得ることができた
- B. ほぼ目標どおりの結果となった
- C. 残念ながら目標を達成できなかった
- D. その他 ()

「いばらき子ども食堂応援助成」

決 算 書

活動名	おいしさたまごころを届ける支援活動
団体名	ami seed

区分	勘定科目	内容						金額		
収益	受取助成金	いばらき子ども食堂応援助成						¥300,000		
	自主財源	会費（3,000×13名）・寄付						¥45,441		
	経常収益計							¥345,441		
区分	勘定科目	内容	単価	×	数量	=	金額	うち助成金 充当額	うち自己資 金充当額	
費用	業務委託費	検便代	¥1,000	×	15名	=	¥15,000	¥10,000	¥5,000	
	保険料	ボランティア保険	¥25,060	×	1式	=	¥25,060	¥25,060	¥0	
	消耗品費	飲食店お弁当購入	¥111,692	×	1式	=	¥111,692	¥110,000	¥1,692	
	消耗品費	子ども食堂食材購入	¥70,731	×	1式	=	¥70,731	¥70,731	¥0	
	雑費	子ども食堂備品購入	¥38,218	×	1式	=	¥38,218	¥38,218	¥0	
	旅費交通費	ボランティア	¥35,446	×	1式	=	¥35,446	¥23,058	¥12,388	
	印刷製本費	チラシ・コピー代	¥18,823	×	1式	=	¥18,823	¥18,823	¥0	
	会議費	スタッフお茶代	¥4,110	×	1式	=	¥4,110	¥4,110	¥0	
	会議費	スタッフ昼食代	¥21,461	×	1式	=	¥21,461	¥0	¥21,461	
	消耗品費	精米代	¥4,900	×	1式	=	¥4,900	¥0	¥4,900	
		経常費用計							¥345,441	¥300,000